

域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 （該当に）

日時：令和6年2月22日10時00分～10時30分

場所：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

委員：5人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員 (職名：しおさい施設長・管理者 看護師)			3人

1. 報告事項：

(1) 利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

(小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える)

a) 登録者数及び男女比

	12月	1月
登録数(月末時点)	22名	22名
男性：女性	5：17	5：17

b) 地域

	12月	1月
仁摩町	18名	17名
温泉津	4名	4名
大森町	0名	0名
久利町	0名	1名

c) 要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	変更申請
12月	0	1	7	7	6	1	0	0
1月	0	1	7	7	5	2	0	0

d) 年齢構成

	65歳未満	65歳以上	75歳以上	85歳以上	95歳以上	平均年齢
		75歳未満	85歳未満	95歳未満		
12月	0	3	3	3	3	86.3歳
1月	0	2	3	15	3	86.7歳

(2) サービスの提供状況

① サービスの提供回数

a) 週当たりの平均サービス提供回数

	12月	1月
通いのべ人数/月 (平均)	309人 (10.0人/日)	329人 (10.6人/日)
宿泊のべ人数/月 (平均)	142人 (4.6人/日)	157人 (5.1人/日)
訪問のべ回数/月 (平均)	281回 (9.1人/日)	290回 (9.4人/回)
のべサービス 提供回数/月	733回	776回
のべ利用日数/月	672日	693日
登録者一人当たり の平均利用回数	一人当たり 7.64回/週	一人当たり 7.84回/週

b) 長期宿泊および過少サービスの状況

長期宿泊の方3～4名。週平均4回以下の過少サービス状態の方が3～5名おられました。長期宿泊、過少サービス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

c) 新型コロナウイルス感染症対策

項目	内容
通い	○ 通常対応中 県外を行き来される家族様は、自己チェックを行い通常対応。 ホールテーブルにアクリルパネル設置。
泊り	○ 通常対応中
訪問	○ 通常対応中
面会制限	○面会は、面会室を利用している。
人員体制	○ 現在職員17名。欠員なし
職員の対応	○ 事務所、休憩室にアクリルパネル設置 ○ 自宅での検温、マスク着用
業者の入館	○ 原則玄関対応 その他業者は玄関で体温測定後に消毒、マスク着用して入館
備品の状況	○ マスク・消毒液・プラスチック手袋 → 備蓄あり ○ 予防衣・フェイスシールド→ 備蓄あり
コロナ感染について	2月13日に新型コロナウイルス感染症に2名の利用者が発症され、合計6名の感染者となりました。

(3) しつらえ・環境作り

①室温・換気・湿度

常時窓を開放し、外気温に合わせて開放量調整

②感染症予防のための取組み（新型コロナウイルス感染症対策を含む）

毎日の管理 : 換気・手すり等消毒（2回）

空間洗浄機（次亜塩素酸水）の終日稼働

週1回の管理 : 次亜塩素酸ナトリウムを使用した床拭き

③ 過ごしやすい空間作りの取組

12月26日	ほほえみ神社飾り付け
12月27日	正月飾り付け
1月20日	習字教室
1月21日	節分飾り付け
11月25日	福祉展用作品作り開始

(4) 地域と利用者のかかわり

① 参加行事

道の駅ごいせ仁摩外出 買い物支援

宅野子供神楽獅子舞来所交流

② 実習受入れ

なし

③ 民生委員・関係機関等との連携

医療機関や大田市等との連携を行いました。

(5) 利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

① 利用者個別の地域行事参加支援

② 利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

ガス代支払い支援	0名
銀行引き出し支援	0名

③ 通院支援

定期受診日の予約票保管、受診促し	7回
処方薬の受領、支払い代行	7回
体調不良時の主治医への状態報告、受診手配	9回

④ 町内買い物代行

6名を継続支援中です。

⑤ 町内支払い代行

法人預り金管理規程に準じて4名からお預りし、支払いを代行しました。

購入支援の主な内容は、受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入代でした。

(6) 防災・災害対策

特になし

(7) 質を向上するための取組

①研修（職場内外）の実施・参加

12月21日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価
1月19日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価

会議にて各利用者の支援見直しを行っていました。

②介護事故の発生状況

12月25日 朝の通い迎え時、自宅から外に出て玄関を閉め、正面を向いた所に人がいた。職員が驚いて利用者を支えていた手の力が緩み、尻餅をついた。転倒音はなく痛みなし。転倒した利用者を車に案内した後に、訪問し、服薬確認する利用者だった。送迎前に服薬確認の訪問を行うことに変更。

1月1日配薬箱を見ると1月2日の朝食後薬がなく、1月1日の薬がいた。1月1日の朝の薬の服薬はしていたため、日付を間違い服薬介助していたことが分かった。薬は早番が配薬箱より取り出すルールであったが、夜勤明け職員が取り出していた。ルールの再確認・徹底を申し送った。

(8) 人権・プライバシーの保護

①身体拘束の有無

実施の必要性はありませんでした。

②虐待防止活動（大田市介護相談員）

1月16日に相談員来所され、面談行われましたが、問題なし。

③苦情相談

苦情相談はありませんでした。

2. 意見・アドバイス

地域の方より

コロナの感染が大変だったと思いますが、これからも感染対策を続けながら、サービス提供を行ってほしい。

